

報道各位

APM2026 展示会 パビリオン出展結果

一般社団法人 日本船用工業会

当会は、日本財団の助成事業として、2026年3月25日（水）から3月27日（金）まで、シンガポール・マリーナベイサンズで開催された国際海事展「Asia Pacific Maritime 2026（以下APM）」に日本パビリオンを形成し、木下和彦会長、小田雅人副会長、小田茂晴副会長、深田雄副会長をはじめ会員企業18社、賛助会員2社の合計20社とともに参加した。

同展示会には各国から総勢819の出展社、主催者発表によると19,431人の来場者があった。

会期前日には、木下会長と事務局がシンガポール船主協会（SSA）を訪問し、President / Chair, Digitalization CommitteeのTeo Teng Seng氏との意見交換を行い、日本パビリオンや脱炭素に対する取り組みに加え、当会のサイバーセキュリティ対策に関する取り組みについて説明し、相互に協力可能な事業には積極的に協力して取り組んではどうか等の提案を行った。

シンガポール船主協会（SSA）からは、世界初のサーバーセキュリティ保険制度を設けた経緯や仕組みに関する紹介を受け、相互に意見交換や質疑応答を行った。

会期初日のオープニングセレモニー前に、Maritime and Port Authority of Singapore（MPA）Chief ExecutiveのAng Wee Keong氏による日本パビリオン訪問があり、木下会長、小田雅人副会長、日本海事協会の菅会長との面談及び参加企業ブースの巡覧を行った。続くオープニングセレモニーでは、同氏より海運業の安定維持、2040年にTuas港が世界最大の自動化港であり、バンカー港になることを目指す事等についてスピーチがあった。

その後、当会木下会長と日本海事協会の菅会長がVIPゲストとして紹介され、ステージ上でのフォトセッションに参加した。

会期初日午後には、Power Stageセミナー会場にて「Japan Green Challenge」と称したイベントを実施し、参加企業から計5社がプレゼンテーションを行い、製品PRと最新技術や脱炭素化へ向けた取り組みを紹介した。その後、同会場にてネットワーキング・レセプションを開催し、276名の来場者で賑わい、参加企業と来場者間との活発な交流が行われた。

また会期中にはシンガポール大手船主のEastern Pacific ShippingやONE等の船主や、STX Engineering等の設計企業、PAX Ocean等の造船企業の他にも、インドネシアからはインドネシア船主協会のCarmelita Hartoto Chairmanやインドネシア造船・海洋産業協会のAnita Puji Utami Chairman、マレーシアの大手船主MISC、香港の船舶管理会社Anglo-Eastern ShipmanagementのUma Dutt General Manager、台湾からは台湾造船工業会やCSBC等の近隣諸国の顧客の訪問があった。

参加企業からは、「パビリオン巡覧を含め、シンガポール以外のアジア諸国からも来訪があり、多くのコネクションを作ることができた」、「新規案件獲得と既存顧客からの追加引き合いと関係維持につながった」、といった声が多数寄せられた。

当会では、欧州・アジアをはじめとした海外海事関係者と会員企業との関係発展を図るため、引き続き国際展示会への参加機会を活用し、会員企業の技術・製品・サービスのPRを積極的に実施していく。

記

<APM2026 展示会 参加概要>

- ・開催時期：2026年3月25日（水）～3月27日（金）
- ・開催場所：Sands Expo & Convention Centre B1&1 ※日本パビリオンは1F

<当工業会出展参加概要>

- ・出展面積：239㎡ / ブース番号 B-M02M
- ・出展社数：20社・機関（スペース出展13社、グラフィック出展5社、造船コーナー2社）
- ・出展社名：（五十音順）

（スペース出展）

潮冷熱(株)、(株)カゴオ、神奈川機器工業(株)、(株)ササクラ、商船三井テクノトレード(株)、大晃機械工業(株)、ダイハツインフィニアース(株)、東京計器(株)、（一財）日本海事協会、阪神内燃機工業(株)、BEMAC(株)、三菱重工マリンマシナリ(株)、ヤンマーパワーソリューション(株)

（グラフィック出展）

(株)赤阪鐵工所、セムコ(株)、大洋電機(株)、日東化成工業(株)、ボルカノ(株)

（造船コーナー）

(株)三和ドック、墨田川造船(株)

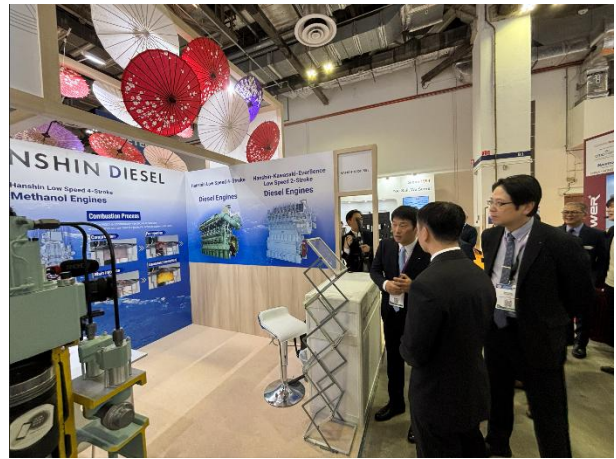
- ・日本パビリオン PR サイト：<https://www.jsmea.or.jp/en/exhibitor-list-asia-maritime-pacific/>

<日本セミナー / Japan Green Challenge>

- ・開催日時：2026年3月25日（水）＊会期1日目
- ・開催場所：Power Stage セミナー会場内
- ・開催時間：16:00～17:00 ＊ネットワーキング・レセプション 17:00～18:30
- ・講演企業：大洋電機(株)、東京計器(株)、BEMAC(株)、
三菱重工マリンマシナリ(株)、ヤンマーパワーソリューション(株)

(以下、参考写真)

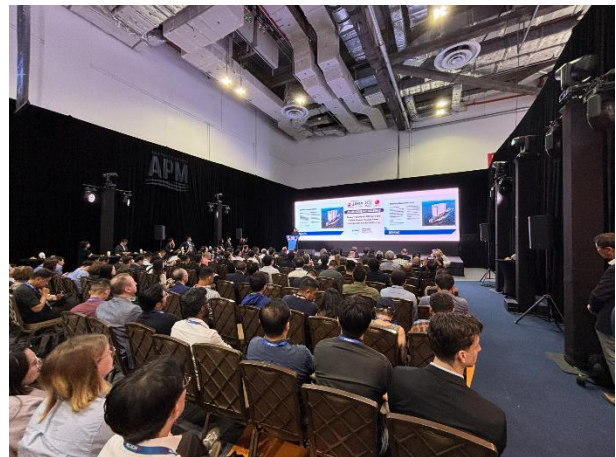
【Maritime and Port Authority of Singapore (MPA) の日本パビリオン訪問・巡覧の様子】



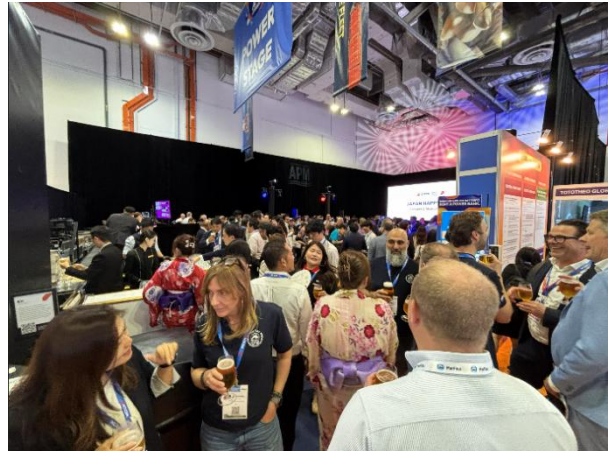
【オープニングセレモニーの様子】

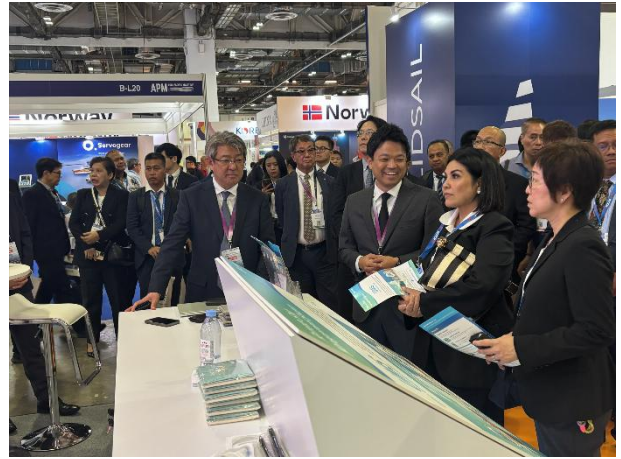


【Japan Green Challengeの様子】

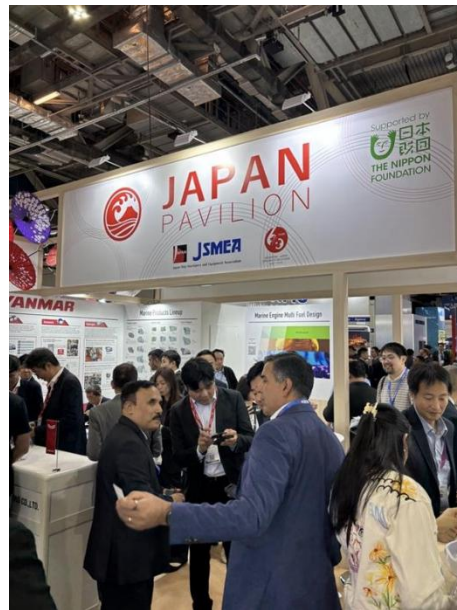
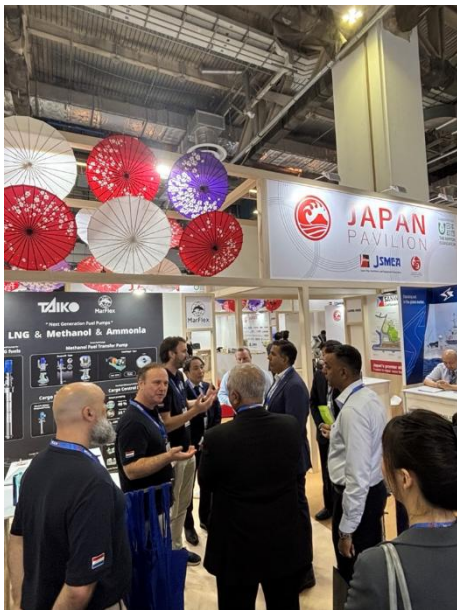


【ネットワーキング・レセプションの様子】





(インドネシア船主協会 (Indonesian National Shipowners' Association) のChairman / Carmelita Hartoto氏)

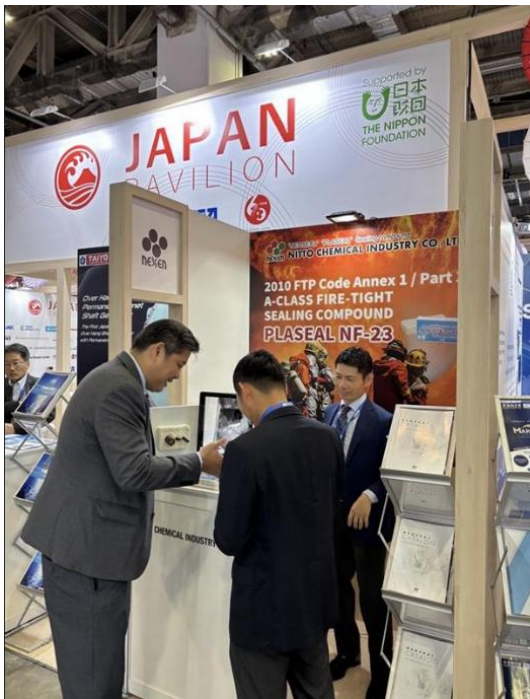


(Eastern Pacific Shippingの Technical Director / Sachin Saharawat氏)
 (Anglo-Eastern Shipmanagement の General Manager / Uma Dutt氏)



(インドネシア造船・海洋産業協会 (IPERINDO) の Chairman / Anita Puji Utami氏)

【日本パビリオンの様子（参加企業ブース）】





【シンガポール船主協会（SSA）訪問の様子】



（一社）日本船用工業会 業務部 石田・水谷

電話:03-3502-2041/ メール : ishida@jsmea.or.jp, mizutani@jsmea.or.jp

以上